

事務事業評価一覧(課別)

令和5年度

建設部建設施設管理課

(単位:千円)

事務事業名	決算額	改善方向性		シートNo.
	計:	コスト	成果	
1662 トンネル長寿命化修繕事業	58,617	→	→	232-01
2053 市道・橋梁台帳整備事業	7,006	→	→	232-02
2060 地方改善施設整備事業	4,994	→	↑	232-03
2061 道路維持改良事業	57,179	→	↑	232-04
2062 道路維持管理事業	338,165	→	→	232-05
2063 橋梁長寿命化修繕事業	393,387	→	→	232-06
2064 道路アダプト制度事業	3,330	↑	↑	232-07
2065 道路施設防災安全対策事業	193,654	→	↑	232-08
2095 公園管理事務事業	20,926	→	→	231-01
2096 都市公園管理事業	50,347	→	→	231-02
2097 城山公園管理事業	21,946	→	→	231-03
2098 丸岡公園管理事業	13,760	→	→	231-04
2099 公園改修事業	84,240	↑	↑	231-05

1. 基本情報						
事務事業名	1662 トンネル長寿命化修繕事業					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	建設施設管理課	
施策名	3. 快適生活の基盤づくりの推進					
基本事業名	2. 道路ネットワークの構築と道路施設の維持			予	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①市内の渋滞解消のため、国・県道整備に関する要望活動を行うほか、バイパス道路や地域拠点施設間のアクセス道路の整備を推進し、道路ネットワークの構築を図ります。 ②橋梁・トンネル等の個別施設ごとに策定する長寿命化計画等に基づき、予防保全対策や補修等を計画的に実施します。			算	款	08 土木費
				科	項	02 道路橋梁費
				目	目	01 道路橋梁維持費
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	
	①②国・県・市道の利用者		①円滑に移動できる ②安全に通行できる		関連計画	霧島市トンネル長寿命化修繕計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 市で管理するトンネルが老朽化していることから、トンネルの長寿命化及び通行の安心・安全を図るため、調査・修繕等を実施する。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市で管理するトンネルの利用者	市で管理する全トンネル数	箇所	3	3	3	3
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 5年毎に実施するトンネル点検で、施設の危険判定レベルⅢ以上のトンネルの改修	対応率(補修完了トンネル数/危険度判定Ⅲトンネル数)	%	0	50	0	50
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)		16,780	62,957	10,000	令和4年度作成の補修設計に基づき、空港第2トンネルの補修工事の発注を行った。令和5年度から令和6年度にむけて空港第2トンネルの補修工事を完了させる。令和7年度については、空港隧道を補修予定。小野浜トンネルについて、定期点検を実施し健全度診断を行った。
財源内訳	国庫支出金	9,229	34,626	5,500	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	28,300	4,500	
一般財源	7,551	31	0		

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないかまた、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	5年に1回の定期点検を行いながら早期発見に努め、トンネルの長寿命化を図っていく。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報						
事務事業名	2053 - 市道・橋梁台帳整備事業					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	建設施設管理課	
施策名	3. 快適生活の基盤づくりの推進					
基本事業名	2. 道路ネットワークの構築と道路施設の維持			予	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①市内の渋滞解消のため、国・県道整備に関する要望活動を行うほか、バイパス道路や地域拠点施設間のアクセス道路の整備を推進し、道路ネットワークの構築を図ります。 ②橋梁・トンネル等の個別施設ごとに策定する長寿命化計画等に基づき、予防保全対策や補修等を計画的に実施します。			算	款	08 土木費
				科	項	01 土木管理費
				目	目	01 土木総務費
				事業期間	平成17年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	道路法、道路法施行規則
	①②国・県・市道の利用者		①円滑に移動できる ②安全に通行できる		関連計画	特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 市が管理する道路(市道)や橋梁の台帳を整備し、認定・廃止・改良に合わせて、台帳の補正を行う。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市道(認定分)	市道延長		1,633	1,633	1,635	1,637
イ 橋梁	橋梁数		657	657	657	657
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 情報が適切に管理できる	道路台帳の整備率		100	100	100	100
イ 情報が適切に管理できる	橋梁台帳の整備率		100	100	100	100
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)	6,858	6,676	7,412	補正データ作成測量業務委託 4.93km(27路線、39箇所) 道路・橋梁台帳補正 5.21km(33路線)
財源内訳	国庫支出金	0	0	道路・橋梁台帳の整合性を保つため、道路改良等の工事が完了し、道路情報に変更が生じた路線について区域決定・供用開始等の告示を行い台帳補正を行った。 道路・橋梁台帳を整備することにより、市道の整備や維持管理業務の効率化と市道に係る許認可申請審査業務に対する利便性・迅速性が向上するとともに、地方交付税の算定基礎となる道路数値を把握することができた。
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
	一般財源	6,858	6,676	

5. 振返り<SEE (check)>		
妥当性	① この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	② この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③ 廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④ 成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤ 事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥ 事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報						
事務事業名	2060 - 地方改善施設整備事業					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	建設施設管理課	
施策名	3. 快適生活の基盤づくりの推進					
基本事業名	2. 道路ネットワークの構築と道路施設の維持			予	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①市内の渋滞解消のため、国・県道整備に関する要望活動を行うほか、バイパス道路や地域拠点施設間のアクセス道路の整備を推進し、道路ネットワークの構築を図ります。 ②橋梁・トンネル等の個別施設ごとに策定する長寿命化計画等に基づき、予防保全対策や補修等を計画的に実施します。			算	款	08 土木費
				科	項	02 道路橋梁費
				目	目	01 道路橋梁維持費
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		事業期間	
	①②国・県・市道の利用者		①円滑に移動できる ②安全に通行できる		根拠法令 条例等	
					関連計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 霧島市の市道・生活道路の狭小道路及び排水路等における、市民からの改修要望に対して、改善のための工事を行う事業。(交付金)

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市道利用者及び周辺住民	人口	人	122,926	123,370	122,442	123,101
イ 霧島市内の市道	市内の市道延長	km	1,633	1,634	1,635	1,637
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 安全に通行できる	対応率(改修済延長/改修計画延長)	%	30	50	40	58
イ 良好な状態に保たれる	対応率(改修済延長/改修計画延長)	%	30	50	40	58
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)		4,385	4,994	10,200	令和5年度は側溝布設替えL=74mを行ない、排水路施設の改善を図った。
財源内訳	国庫支出金	0	0	5,100	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
一般財源	4,385	4,994	5,100		

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	地方改善施設整備事業の事業要望を県に引き続き行なっていく。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名	2061 - 道路維持改良事業			所属	建設施設管理課		
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			予	会計	01	一般会計
施策名	3. 快適生活の基盤づくりの推進				算	款	08
基本事業名	2. 道路ネットワークの構築と道路施設の維持			科	項	02	道路橋梁費
基本事業の内容 (総合計画より)	①市内の渋滞解消のため、国・県道整備に関する要望活動を行うほか、バイパス道路や地域拠点施設間のアクセス道路の整備を推進し、道路ネットワークの構築を図ります。 ②橋梁・トンネル等の個別施設ごとに策定する長寿命化計画等に基づき、予防保全対策や補修等を計画的に実施します。			目	目	01	道路橋梁維持費
				事業期間			
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		
	①②国・県・市道の利用者		①円滑に移動できる ②安全に通行できる		関連計画		

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
霧島市全域の市道の維持補修のため、補修工事を行う事業。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市道利用者及び周辺住民	人口	人	122,926	123,370	122,442	123,101
イ 霧島市内の市道	市内の市道延長	km	1,633	1,634	1,635	1,637
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 安全に通行できる	対応率(改修済延長/改修計画延長)	%	84	91	88	74
イ 良好な状態に保たれる	対応率(改修済延長/改修計画延長)	%	84	91	89	74
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果	
事業費(千円)		77,979	57,179	52,300	令和5年度では、道路維持改良工事を8路線実施した。(国分地区1件、隼人地区2件、溝辺地区1件、横川地区1件、牧園地区1件、霧島地区1件、福山地区1件) 隅切等の分筆測量を2件実施した。	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	11,713	11,693	11,693		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	38,200	29,300		
一般財源	66,266	7,286	11,307			

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	道路の維持改良については、市民からの要望も多いなか効率的な工法などを検討していく。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名	2062 - 道路維持管理事業			所属	建設施設管理課		
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			予	会計	01	一般会計
施策名	3. 快適生活の基盤づくりの推進				算	款	08
基本事業名	2. 道路ネットワークの構築と道路施設の維持			科	項	02	道路橋梁費
基本事業の内容 (総合計画より)	①市内の渋滞解消のため、国・県道整備に関する要望活動を行うほか、バイパス道路や地域拠点施設間のアクセス道路の整備を推進し、道路ネットワークの構築を図ります。 ②橋梁・トンネル等の個別施設ごとに策定する長寿命化計画等に基づき、予防保全対策や補修等を計画的に実施します。			目	目	01	道路橋梁維持費
				事業期間			平成18年度～
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	道路法(第16条)	
	①②国・県・市道の利用者		①円滑に移動できる ②安全に通行できる		関連計画	特になし	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 霧島市全域の市道の維持管理のため、パトロールによる危険箇所の早期発見や清掃、および修繕・改修を行う事業

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市道利用者及び周辺住民	人口	人	122,926	123,370	122,442	123,101
イ 霧島市内の市道	市内の市道延長	km	1,633	1,634	1,635	1,637
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 安全に通行できる	対応率(改修対象箇所数/改修が必要と判断された箇所数)	%	87	87	0	0
イ 良好な状態に保たれる	対応率(修繕対象箇所数/改修が必要と判断された箇所数)	%	87	87	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)		342,155	338,166	334,946	道路補修・側溝修繕などを543件実施した。内訳は、国分地区274件・隼人地区96件・溝辺地区28件・横川地区24件・牧園地区54件・霧島地区35件・福山地区32件で、その中に、まちづくり計画による要望も134件も含まれます。 また、高所木伐採35件と草払い業務委託を812km実施しました。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
一般財源	342,155	338,166	334,946		

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	道路の維持管理に関する市民からの要望については、緊急性の高いものについては早急に対応していく。また、地域の高齢化により草払いの要望が増えるため、地域ボランティア等との連携を取っていく必要がある。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報						
事務事業名	2063 - 橋梁長寿命化修繕事業					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	建設施設管理課	
施策名	3. 快適生活の基盤づくりの推進					
基本事業名	2. 道路ネットワークの構築と道路施設の維持			予 算 科 目	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①市内の渋滞解消のため、国・県道整備に関する要望活動を行うほか、バイパス道路や地域拠点施設間のアクセス道路の整備を推進し、道路ネットワークの構築を図ります。 ②橋梁・トンネル等の個別施設ごとに策定する長寿命化計画等に基づき、予防保全対策や補修等を計画的に実施します。				款	08 土木費
					項	02 道路橋梁費
					目	01 道路橋梁維持費
				事業期間	永年	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	
	①②国・県・市道の利用者		①円滑に移動できる ②安全に通行できる		関連計画	橋梁長寿命化計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

市で管理する全橋梁について、長寿命化修繕計画に基づく計画的かつ予防的管理を行い、橋梁の長寿命化を図るために専門業者による点検をおこなう。その結果により劣化・損傷が進み危険であると判断された橋梁に対し有効な補修工事を検討し工事することで橋梁の長寿命化を図る。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市で管理する橋梁の利用者	市で管理する全橋梁数 (平成30年度公表値)	橋	652	652	652	652
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 5年毎に実施する橋梁点検で、施設の危険判定レベルⅢ以上の橋梁の改修をおこ	対応率(補修完了橋梁数/危険度判定Ⅲ橋梁101橋)	%	56	89	88	100
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)		274,953	393,220	309,000	令和5年度は、補修工事10橋と修繕工事13橋をおこなった。令和6年度に補修工事11橋をおこなうことで、1巡目点検で早期措置段階(レベルⅢ)の判定を受けた101橋について、全て着手することになる。
財源内訳	国庫支出金	0	0	169,950	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	139,000	
一般財源	274,953	393,220	50		

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できる
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	令和元年から令和5年で、2巡目点検を終えた。また、令和5年橋梁長寿命化個別施設計画策定業務委託の結果から、今後の長寿命化修繕計画を決定していく。 令和6年度から、橋梁マネジメントサポートシステムを導入することで、橋梁の補修データ等を一括管理することができ、橋梁の維持管理業務の効率化が図れる。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報									
事務事業名	2064 - 道路アダプト制度事業								
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	建設施設管理課				
施策名	3. 快適生活の基盤づくりの推進								
基本事業名	2. 道路ネットワークの構築と道路施設の維持								
基本事業の内容 (総合計画より)	①市内の渋滞解消のため、国・県道整備に関する要望活動を行うほか、バイパス道路や地域拠点施設間のアクセス道路の整備を推進し、道路ネットワークの構築を図ります。 ②橋梁・トンネル等の個別施設ごとに策定する長寿命化計画等に基づき、予防保全対策や補修等を計画的に実施します。					予	会計	01	一般会計
						算	款	08	土木費
						科	項	02	道路橋梁費
						目	目	01	道路橋梁維持費
						事業期間	平成24年度～		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	特になし			
	①②国・県・市道の利用者		①円滑に移動できる ②安全に通行できる		関連計画	特になし			

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

道路アダプト制度実施要綱により、市民団体・事業者団体などを募集し、応募した団体が霧島市内の市道及び国県道の主要幹線道路で延長400m以上の道路敷地を年2回以上の道路の草払いや清掃および道路の破損等の情報提供の活動をしていただき、その団体には活動支援金の交付する。また、アダプトの道路区域に、アダプトサイン(看板)の設置をおこない道路の環境及び機能の維持向上を図る。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市民団体及び事業者団体	市民団体及び事業者団体数	団体	79	90	84	86
イ 霧島市内の市道・国県道の主要幹線道路	指定道路及び指定区間延長	Km	180	188	190	190
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア アダプト制度登録団体数を増やす	この事業により道路環境保全に取り組む市民団体・事業者団体数(累積)	団体	79	90	84	86
イ 草払い・清掃活動等が行われる	アダプトによる道路の草払い延長(累積)	Km	77	86	83	85
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果	
事業費(千円)		3,378	3,330	3,400	実績は、令和5年度で新規団体として12団体を追加登録し、また脱退団体が6団体、活動休止団体が3団体の合計84団体による草払い・清掃実施延長が83.1Kmであった。 成果は、道路環境及び道路機能の維持向上が図られ、安全で快適に移動できるようになった。	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	3,300	3,400		
一般財源	3,378	30	0			

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	引き続き、自治会等を中心とした登録団体の加入を斡旋するとともに、企業等の民間会社への参加を依頼するなど、登録団体の加入増加を図り、道路の環境美化や機能を維持していく。
② コスト(予算)の方向性	↑ 拡充	

1. 基本情報							
事務事業名	2065 - 道路施設防災安全対策事業						
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らしたいまちづくり)				所属	建設施設管理課	
施策名	3. 快適生活の基盤づくりの推進						
基本事業名	2. 道路ネットワークの構築と道路施設の維持				予	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①市内の渋滞解消のため、国・県道整備に関する要望活動を行うほか、バイパス道路や地域拠点施設間のアクセス道路の整備を推進し、道路ネットワークの構築を図ります。 ②橋梁・トンネル等の個別施設ごとに策定する長寿命化計画等に基づき、予防保全対策や補修等を計画的に実施します。				算	款	08 土木費
					科	項	02 道路橋梁費
					目	目	01 道路橋梁維持費
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		事業期間		
	①②国・県・市道の利用者		①円滑に移動できる ②安全に通行できる		根拠法令 条例等		
					関連計画		

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

道路施設の計画的な修繕・更新による老朽化対策と、自然災害に対する事前防災・減災対策を行うことにより、地域道路網の安全性・信頼性を向上するとともに、地域の課題に応じた交通安全対策を多角的に実施することにより、安心安全な道路交通環境を構築する。・主な事業は、道路舗装の道路法面の経年劣化による老朽化対策や、生活道路安全対策事業

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市道利用者及び周辺住民	人口	人	122,926	123,370	122,442	123,101
イ 霧島市内の市道	市内の市道延長	km	1,633	1,634	1,635	1,637
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 安全に通行できる	対応率(改修済延長/改修計画延長)	%	37	25	36	44
イ 良好な状態に保たれる	対応率(改修済延長/改修計画延長)	%	37	25	36	44
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果	
事業費(千円)	147,555	193,654	150,000	令和5年度では、道路舗装工事を5路線実施した。(国分地区2件、隼人地区3件) 通学路対策工事を2路線実施した。(国分地区1件、隼人地区1件) 法面工事を1路線実施した。(隼人地区1件)		
財源内訳	国庫支出金	11,527	23,198	25,500		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	113,400	113,400	90,000		
	その他	0	37,000	34,500		
	一般財源	22,628	20,056	0		

5. 振返り<SEE (check)>		
妥当性	① この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	② この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③ 廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④ 成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤ 事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥ 事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	道路施設の老朽化対策や法面の防災対策、通学路点検結果に基づく通学路対策など、必要な対策を優先順位を考慮しながら効率的に進めていく。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報									
事務事業名	2095 - 公園管理事務事業								
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	建設施設管理課				
施策名	3. 快適生活の基盤づくりの推進								
基本事業名	1. 良質な住環境の整備					予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①市営住宅等の長寿命化や土地区画整理事業による住環境の整備を進めるとともに、建築物の耐震化などの支援等を通じ、住環境の安全性向上に努めます。 ②利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進め、緑地の充実を図るとともに、地域住民と連携した維持管理を推進します。					算	款	08	土木費
						科	項	05	都市計画費
						目	目	04	公園費
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		事業期間				
	①市民 ②公園利用者		①安心して住宅に住めるようになる ②快適に利用できる		根拠法令 条例等				
					関連計画				

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

天降川ふるさとの川河川公園、地域管理でない普通公園(宮の杜ふれあい公園・臨空団地1~3号公園・下井地区運動公園・野久美田農村公園等)の管理について業務委託を行う。市内の公園にある施設の簡易な修繕を行うとともに地域等から要望のある普通公園の剪定・樹木の伐採や都市公園で指定管理者が行うことのできない修繕や樹木管理作業を専門業者に委託する。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市民	人口	人	124,629	123,390	123,440	123,101
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 安心・安全・快適に利用できる	公園施設の修繕や樹木管理等の業務委託を行った箇所数	箇所	0	0	0	0
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)	21,187	20,327	25,453	
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	5,000	
	地方債	0	0	
	その他	0	505	
	一般財源	21,187	20,327	

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないかまた、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報						
事務事業名	2096 - 都市公園管理事業					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	建設施設管理課	
施策名	3. 快適生活の基盤づくりの推進					
基本事業名	1. 良質な住環境の整備			予	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①市営住宅等の長寿命化や土地区画整理事業による住環境の整備を進めるとともに、建築物の耐震化などの支援等を通じ、住環境の安全性向上に努めます。 ②利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進め、緑地の充実を図るとともに、地域住民と連携した維持管理を推進します。			算	款	08 土木費
				科	項	05 都市計画費
				目	目	04 公園費
				事業期間	平成17年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	都市公園法、霧島市都市公園条例
	①市民 ②公園利用者		①安心して住宅に住めるようになる ②快適に利用できる		関連計画	霧島市公園施設長寿命化計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

市内の都市公園(城山公園、丸岡公園を除く)について、指定管理者による運営・管理を行う。※国分都市公園指定管理(18公園)・有下公園指定管理者:一般財団法人霧島市施設管理公社指定期間:R2.4.1~R7.3.31※隼人等都市公園指定管理(35公園)・麓2号公園、麓4号公園指定管理者:公益社団法人霧島市シルバー人材センター指定期間:R3. 4. 1~R8.3.31

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市民	人口	人	124,629	123,390	123,442	123,101
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 安心・安全・快適に利用できる	なし(利用の状況から利用者数の把握やアンケート実施が困難。)		0	0	0	0
イ	なし(利用の状況から利用者数の把握が困難(自由使用)。)		0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)	47,327	50,347	41,862	【指定管理料実績】 ・国分都市公園指定管理 22,012,000円 ・隼人等都市公園指定管理 19,444,500円 ・有下公園指定管理 320,000円 ・麓2号公園及び麓4号公園指定管理 438,000円 ・備品購入(国分都市公園) ダブルキャブ及びダンブトラック 8,008,000円
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
一般財源	47,327	50,347	41,862	

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	公園施設長寿命化計画及び点検結果に基づき、遊具を含む公園施設の修繕、改修等を行っていく。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報					
事務事業名	2097 - 城山公園管理事業				
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	建設施設管理課
施策名	3. 快適生活の基盤づくりの推進				
基本事業名	1. 良質な住環境の整備			予	会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①市営住宅等の長寿命化や土地区画整理事業による住環境の整備を進めるとともに、建築物の耐震化などの支援等を通じ、住環境の安全性向上に努めます。 ②利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進め、緑地の充実を図るとともに、地域住民と連携した維持管理を推進します。			算	01 一般会計
				科	08 土木費
				目	05 都市計画費
				目	04 公園費
	事業期間			平成17年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等
	①市民 ②公園利用者		①安心して住宅に住めるようになる ②快適に利用できる		都市公園法及び霧島市都市公園条例
				関連計画	霧島市公園施設長寿命化計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

城山公園(国分)は、昭和53年に開園した総合公園で、敷地面積は15万8594㎡で、展望台(6階建)、レストハウス、観覧車、ゴーカート場(全長1300m)、電動カー乗り場、パターゴルフ場、児童広場、芝生広場、SL展示、駐車場(268台)などの施設があります。【指定管理者】公益社団法人霧島市シルバー人材センター指定管理期間令和2年4月1日～令和7年3月31日

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市民	人口	人	124,629	123,390	123,442	123,101
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 安心・安全・快適に利用できる	利用者アンケートによる「期待以上だった」「期待通りだった」「まあまあだった」の割合	%	98	97	100	97
イ 安心・安全・快適に利用できる	年間利用者数	人	140,464	105,000	129,923	120,000
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)	22,585	21,946	19,580	【指定管理実績】 ・城山公園指定管理料 19,735,000円 ・備品購入(券売機3台) 2,211,000円
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
一般財源	22,585	21,946	19,580	

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	指定管理者と綿密に連携し、適切な維持管理(清掃・剪定・修繕等)に努める。公園施設長寿命化計画に基づき、緊急度、優先順位に応じた改修、修繕等を進める。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報						
事務事業名	2098 - 丸岡公園管理事業					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	建設施設管理課	
施策名	3. 快適生活の基盤づくりの推進					
基本事業名	1. 良質な住環境の整備			予	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①市営住宅等の長寿命化や土地区画整理事業による住環境の整備を進めるとともに、建築物の耐震化などの支援等を通じ、住環境の安全性向上に努めます。 ②利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進め、緑地の充実を図るとともに、地域住民と連携した維持管理を推進します。			算	款	08 土木費
				科	項	05 都市計画費
				目	目	04 公園費
	事業期間			平成17年度～		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	都市公園法及び霧島市都市公園条例
	①市民 ②公園利用者		①安心して住宅に住めるようになる ②快適に利用できる		関連計画	霧島市公園施設長寿命化計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

丸岡公園(横川)は、昭和43年に開園した総合公園で、敷地面積は27万2000㎡であり、緑地公園、運動場、日本庭園、ゴーカート場(約1000m)スロープカー、遊具、レストラン等の施設があります。また公園施設の他に園内には、農業交流センターやバンガローを併設しています。【指定管理者】きりしまPPP株式会社指定管理期間令和4年4月1日～令和9年3月31日

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市民	人口	人	124,629	123,390	123,442	123,101
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 安心・安全・快適に利用できる	利用者アンケートによる「期待以上だった」「期待通りだった」「まあまあだった」の割合	%	95	94	90	95
イ 安心・安全・快適に利用できる	年間利用者数	人	75,696	108,000	59,387	59,000
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果	
事業費(千円)	12,883	13,760	10,233	【指定管理実績】 ・丸岡公園指定管理料 34,208,848円 ・備品購入 歩行型トラクタ 1台 161,480円 券売機 1台 737,000円	
財源内訳	国庫支出金	0	0		0
	県支出金	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
一般財源	12,883	13,760	10,233		

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	広大な丸岡公園の園内広場、緑地公園の芝管理、除草、樹木剪定等を適切に行うとともに、老朽化が進む公園施設については、公園施設長寿命化計画等に基づき、緊急度、優先度を考慮し、維持修繕、改修等を適切に実施する。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報									
事務事業名	2099 - 公園改修事業								
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	建設施設管理課				
施策名	3. 快適生活の基盤づくりの推進								
基本事業名	1. 良質な住環境の整備					予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①市営住宅等の長寿命化や土地区画整理事業による住環境の整備を進めるとともに、建築物の耐震化などの支援等を通じ、住環境の安全性向上に努めます。 ②利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進め、緑地の充実を図るとともに、地域住民と連携した維持管理を推進します。					算	款	08	土木費
						科	項	05	都市計画費
						目	目	04	公園費
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		事業期間				
	①市民 ②公園利用者		①安心して住宅に住めるようになる ②快適に利用できる		根拠法令 条例等				
					関連計画				

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 老朽化の進む公園施設の改修や更新、又は新設により、利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進め、公園の魅力度の向上を図る。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市民	人口	人	124,629	123,390	123,442	123,101
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進める	更新又は新設した公園施設数	基	6	19	23	12
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)	36,640	77,255	321,482	【遊具設置・更新等】 ・複合遊具等更新(明線) 4基 ・ " " 7基 ・スプリング遊具等更新 11基 ・バスケットゴール設置 1基 【丸岡公園整備】 ・噴水測量設計 ・便所新築設計 ・ゴーカートコース延伸整備測量設計 ・ふれあい広場大型木造屋根・飼育小屋・電動カー倉庫新築設計 ・ふれあい広場造成測量設計
財源内訳				
国庫支出金	0	0	55,000	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	159,400	
その他	0	0	61,300	
一般財源	36,640	77,255	45,782	

5. 振返り<SEE (check) >

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN) >

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	昭和43年の開園から50年以上が経過し、老朽化の進む丸岡公園の施設を更新、拡充し、来園者の安心安全な利用及び公園の魅力度の向上を図る。 また、老朽化の進む公園の遊具については、国の補助事業も活用しながら、適切な更新を図る。
② コスト(予算)の方向性	↑ 拡充	